

火災発生時の行動フロー

① 自動火災報知設備のベルが鳴る



② 受信機及び警戒区域図での場所確認（地区ベル止めない）



③ 放送する

「ただいま〇〇付近の火災感知器が作動しました。
現在職員が確認していますので、次の放送があるま
で、その場で待機してください。」

2回繰り返す



③ 最寄りの消火器及び送話器等を持ち、現場を確認する。

（2人で向かう）



火災現場発見（周囲への火災周知）

④ 消火器・屋内消火栓設備で初期消火と同時に119番通報依頼。
（内容を伝達する）



⑤ 放送する

「ただいま〇〇から火災が発生しました。職員の指
示によって避難してください。」

2回繰り返す



⑥ 避難誘導（出火箇所を避ける）



⑦ 避難人員の確認



⑧ 消防隊への情報提供

- ・避難状況
- ・負傷者の有無
- ・出火場所

⑥ 消防署へ通報

内容

- ・場所
- ・火災状況
- ・避難状況

火災発生時のチェックポイント

1 行動パターン （自動火災報知設備による火災覚知）

① 自動火災報知設備のベル鳴動

	表示窓で警戒区域を確認（警戒区域一覧図の活用）
	他の関係者に聞こえるように大きい声での指差し呼称
	その場での任務分担の指示（現場確認・初期消火2人、通報者、放送係等）
	放送等を活用し、ベルの鳴動について知らせる（鳴動確認中である旨）

② 出火場所の認識及び通報（現場確認）

	携行品（消火器・マスターキー・受話器・強力ライト・入居者名簿）のチェック
	出火場所の確認要領は適切であったか（確認方法・ドア等の開放）
	初期消火は適切に行ったか（消火器・屋内消火栓等の利用及び 出火場所のドア等の閉鎖はしたか）
	火災断定後、通報者に火災内容を的確に伝えたか（通報の依頼・受話器の利用等）
	周囲の者に火災の旨を大声で知らせたか
	通報内容は適切であったか

③ 避難誘導

	放送施設等を活用して、火災の旨の伝達ができただか（出火場所の周知）
	避難誘導の方法・経路及び避難方法は適切だったか（自力避難困難者の誘導）
	避難完了後、部屋のドア等の閉鎖はしたか（逃げ遅れ者の確認方法）
	終了確認はしたか・確認方法は適切であったか
	避難者の確保・人数確認、施設指揮者への報告は適切であったか。
2	消防署員への情報提供はできたか（避難者・関係者等）

参考事項

① 経過時間

- ・ベル発報から出火場所の確認まで
- ・ベル発報後から119番通報まで（初期消火の時間含む）
- ・ベル発報後から避難終了まで（火災想定）

- ② 避難人員の確認方法
- ③ 応援者の協力体制（避難誘導時、搬送時の安全性）
- ④ 避難場所の選定等
- ⑤ 指示伝達の的確性